



みつけた 私だけの学生スタイル ～愛媛民医連の奨学金制度～



処置見学中の小原さん(左)(2018年9月)



薬害根絶デー(2019年8月)

薬学生

「薬害根絶デー」の取り組み
1980年代の薬害エイズ
事件をきっかけにつくられた

新しく奨学生になる学生も
そんな体験ができたらしいな
と思っています。そして、そ
れらを通して、自分が地域で
どんな医療をしたいか見つけ
重な体験です。

民医連の目指す「無差別平
等の医療」のもと、奨学生会
議や「つどい」で様々な社会
問題について学んでいます。
特につどいでは全国の医学生
と交流する機会があり、意見
交換をする事で自分の視野を
広げる事ができます。どれも
「民医連の奨学生」という繋
がりがあるからこそできた貴
重な体験です。

民医連の奨学生は奨学金の
貸与だけではありません。私
は今、「民医連の奨学生になつ
て良かった!」と思えているし、
そう思えるだけの体験を色々
させていただいています。

民医連の奨学生は奨学金の
貸与だけではありません。私
は今、「民医連の奨学生になつ
て良かった!」と思えているし、
そう思えるだけの体験を色々
させていただいています。

民医連の奨学生は奨学金の
貸与だけではありません。私
は今、「民医連の奨学生になつ
て良かった!」と思えているし、
そう思えるだけの体験を色々
させていただいています。

奨学生からメッセージ
～愛媛民医連の奨学金制度～

愛媛医療生協のすべての事業所は、誰もが健康に生きることを支える医療を目指す全日本民主医療機関連合会に加盟し、愛媛民医連として活動をしています。私たちは将来ともに働く医学生・薬学生・看護学生を対象に奨学金制度を設けています。

では、経済的援助だけでは
ない成長の糧となる数々のサ
ポートを紹介します。

薬害は副作用と同じ意味だ
と思っていた学生が「副作用
と違つて有害性に関する情報
が軽視・無視された結果引き
起こされてしまうものだと知
り、衝撃を受けた」と話して
くれました。

全国の医学生と学び交流

『医学生のつどい』は、毎年

複数回、医学生約200人が

全国各地から集まり、民医連

の医療実践、社会問題、将来

の医師像などについて学び、

話し合いを通して交流してい

ます。

医学・医療の問題にとどま

らず、幅広く社会のことも考

えられるテーマの講演を聞い

たり、フィールドワークとし

て現地に出かけたりします。

学びを整理する意味で少人数

グループで話し合い、自分は

将来どういう医師になりたい

たり、フィールドワークとし

て現地に出かけたりします。